

「一人の百歩より、百人の一步」  
— 2026 年度、新たな体制で未来へ、再生への決意 —

会員の皆さまへ

平素より、特定非営利活動法人 日本を美しくする会の活動に、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。第 18 回総会にあたり、2025 年度の振り返りと、今年度の方針につきまして、ご報告申し上げます。

1. 2025 年度を振り返って

2025 年は、本会にとって、極めて重い一年となりました。年の初めには、長年にわたり本会を導いてくださった鍵山秀三郎相談役がご逝去されました。私たちは、計り知れないほど大きな存在を失いました。その後、認定 NPO 法人資格の失効という重大な事態に直面し、会員の皆さまに多大なご心配をおかけしました。さらに、会員数の減少と、財務悪化が重なりました。

2. 会員数と財務状況の現実

【会員数の推移(2025 年度)】

- ・個人賛助会員 想定 400 名 → 実質 329 名(▲71 名)
- ・法人賛助会員 想定 141 社 → 実質 127 社(▲14 社)
- ・正会員会費 212 万円 → 146 万円(約 3 割減)

【収支状況(2025 年度)】

- ・経常収益:約 1,140 万円
- ・経常費用:約 1,384 万円
- ・当期赤字:約 244 万円

この赤字により、これまで鍵山相談役や諸先輩の皆さまからのご寄付によって積み上げられてきた繰越金を取り崩すことになりました。会長として深くお詫び申し上げます。

3. 認定資格失効と組織運営への反省

認定 NPO 法人資格の失効は、理事会全体の責任であり、組織としての課題の表れでした。理事会を代表し、心よりお詫び申し上げます。

昨年度は、認定再取得および運営面の課題抽出を最優先課題とし、「清風掃々」を休刊して対応に集中しました。そして、弁護士による第三者調査報告書および提言を受け、理事会・事務局運営を抜本的に見直しています。

4. 会員アンケートへの御礼

2025 年度には会員アンケートを実施し、多くの貴重なご意見をお寄せいただきました。率直なお声は、2026 年度以降の方針に確実に反映してまいります。ご協力に、心より感謝申し上げます。

5. 本会の理念と原点

本会の原点は、鍵山秀三郎相談役の理念にあります。

「掃除を通して心の荒みをなくし、世の中を良くすることが、私たちの心願です」

私たちは、今こそこの原点に立ち返ります。

## 6. 2026 年度の基本方針(改革元年)

2026 年度を「改革元年」と位置づけ、3 年以内の黒字化を目指します。

### 【① 財務再建】

- ・会員の拡大
- ・会費収入の回復 と広告・協賛収入の確保
- ・経費削減、特に外部委託費の削減・内製化

### 【② 組織改革】

- ・理事数の適正化(1 年かけて実施)
- ・執行部会を廃止し、理事会へ一本化
- ・委員会活動の推進による、全員参加の改革

### 【③ 事務局改革】

- ・月次決算体制の確立による、会計の透明化と情報共有の徹底

### 【④ 広報・情報公開】

- ・HP を基軸とした情報発信、並びに清風掃々・LINE 公式との連携
- ・年次報告書の作成

## 7. 2026 年度予算の概要

【収入予算】 約 1,070 万円(2025 年度実績水準より低め)

【支出予算】 約 1,270 万円以内に抑制

【目標】 赤字幅の縮小、2027～2028 年度の黒字化達成

## 8. おわりに

私たちは今、鍵山相談役の心願である「掃除を通して心の荒みをなくし、世の中を良くする」という志を、次世代へ確かにつないでいくための、大切な岐路に立っています。共に考え、共に学び、共に歩む。その積み重ねこそが、本会の再生と発展につながると、私は確信しております。鍵山秀三郎相談役の言葉、「一人の百歩より、百人の一步」を今こそ大切にしながら、私たちは心を一つにし、持続可能で信頼される組織の実現に向け、着実に歩みを進めていこうではありませんか！  
今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2026 年 2 月 8 日

特定非営利活動法人 日本を美しくする会

会長 富田 浩志